

No	事業課題 [テーマ]	No	事業概要	No 通し	実施項目	区分												備考 [計画変更の理由など]							
						~前年度末	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3	次年度以降					
1	ICTの利活用	1	建設施行を取り巻く課題への対応策として 情報化施工がイノベーションの手段として 位置づけられ、様々な試みが行われている。 情報化施工を行うにあたり、建設機械に搭載され ている電装品や計器に新たな機能を求められたり、 新たな電子機器が搭載されることが十分に予測さ れる。このような新たな電子機器を情報化機器と 名付け、将来の情報化施工に対応した機器 の方向性を把握し、標準化活動につなげる。	1	情報化施工現状調査 他業界IT適用現状調査 (ウォッチング)	計	当初														情報共有 ・フクイチ社による情報化施工に関するプレゼンを開催(2/3) ・YRPによるグローバルネットワークの状況と新世代ワイヤレスシステム総合試験環境のプレゼンを開催(2/3) ・建機協会による2011年度公共調達ソリューションの基調講演「BIMからCIMへ」の委員会での概要報告				
						画	変更																		
						実	実績																		
						計	当初																		技術動向の調査と共有 ・シエバ社によるネットワーク型RTK-GPSのプレゼンを開催(5/27) ・建機協会による準天頂衛星の民間利用実証実験報告の説明会を開催(7/27)
画	変更																								
実	実績																								
2	安全、災害対策	1	建設業における労働災害のうち、建設機械に関連 する事故を低減するために、ICTや電子機器が 使われ始めている。 また、自然災害の復興には建設機械の使用が欠か せない。特に危険な現場では遠隔操縦や自動化が 有効な手段であり、これらはICTや電子機器で 実現される。 このように建設機械におけるICTや電子機器 関連の技術の動向を把握し、普及や標準化の活動を 推進する。	1	建機の労働災害防止に有効な後方監視カメラ やバックアラーム等の技術動向調査 (ウォッチング)	計	当初														技術動向の調査と共有 ・Hiwave社によるエキサイトを用いたバブテックス技術のプレゼンを開催(5/27)				
						画	変更																		
						実	実績																		
						計	当初																		啓蒙活動 ・電気火災の実例を機械部会技術連絡会で紹介(6/6)
画	変更																								
実	実績																								
計	当初																			今期は調査できず。					
画	変更																								
実	実績																								
計	当初																			情報交換と共有 ・ISO/TC 127/SC 3/WG9「電気駆動及びハイブリッド電子系の安全性」特 設会合への参加(6/30)と委員会での報告(7/27)					
画	変更																								
実	実績																								
3	環境保全	1	自動車ではエンジンの排出ガス低減機能が正常に 機能しているかを知るため故障診断ツールとして OBD IIを導入した。このような標準化の有効性 や課題を調査し、建機の適応可能性を検討する。 また、環境保全のため、電子機器の環境負荷物質 の低減技術動向や建機への適用可能性を検討する。	1	建機へのOBD適用の法規制等の動向調査 および先行する自動車(オンロードトラック) の技術調査 (ウォッチング)	計	当初														特段の進展なしを確認した。				
						画	変更																		
						実	実績																		
						計	当初																		今期はJACMAS改定依頼は無し
画	変更																								
実	実績																								
4	広報活動	1	ホームページを媒体とした、委員会の活動 を報告し、また他委員会等とのコミュニケ ーションもできるような場を創設する。	1	ホームページ内容の充実 活動報告掲載など	計	当初														火災事例集のホームページへの掲載完了				
						画	変更																		
						実	実績																		
						計	当初																		情報共有 ・建設機械の放射線耐性に関する検討会への参加(4/18.4/25)と委員会での報告(5/27) ・「放射線環境下における建設機械に関する意見交換会」への参加(7/15) と委員会での報告(7/27)
画	変更																								
実	実績																								
5	JACMAS、ISO、JIS	1	標準部会等の依頼に都度対応する。	1	ISOのJIS化支援活動 JACMASの見直し	計	当初														情報共有 ・放射線環境下における建設機械に関する検討のその後の状況の委員会での報告(10/5) ・国交省による災害対応建設機械の無線操縦システムについての検討状況のプレゼン開催(10/5) ・環境省福島除染推進チームとの「汚染土壌等の除染についての意見交換会」の委員会での報告(11/25)				
						画	変更																		
						実	実績																		
						計	当初																		情報共有 ・建設機械の放射線耐性に関する検討会への参加(4/18.4/25)と委員会での報告(5/27) ・「放射線環境下における建設機械に関する意見交換会」への参加(7/15) と委員会での報告(7/27)
画	変更																								
実	実績																								
6	その他					計	当初														情報共有 ・建設機械の放射線耐性に関する検討会への参加(4/18.4/25)と委員会での報告(5/27) ・「放射線環境下における建設機械に関する意見交換会」への参加(7/15) と委員会での報告(7/27)				
						画	変更																		
						実	実績																		
						計	当初																		情報共有 ・建設機械の放射線耐性に関する検討会への参加(4/18.4/25)と委員会での報告(5/27) ・「放射線環境下における建設機械に関する意見交換会」への参加(7/15) と委員会での報告(7/27)
画	変更																								
実	実績																								
会議開催日程(開催日時等)：						計	当初													○(5/27)	○(7/29)	○(9/30)	○(11/25)	○(1/27)	○(3/30)
						画	変更														○(7/27)	○(9/28)		○(2/3)	○(4/6)
						実	実績													●(5/27)	●(7/27)	●(10/5)	●(11/25)	●(2/3)	

[上期](1)結果： 上期の活動は上記の通り、ほぼ成果を挙げた。
 その他として、福島原発事故に伴う建設機械への放射線の影響に関する検討会・会合等に参加し、その結果を共有した。
 ・建機用電子機器の放射線寿命(耐放射線性)管理方法について
 ・放射線環境下における建設機械の対応について

(2)今後の方針： 期初に計画した活動内容を継続して推進する。

[下期](1)結果：
 今期の活動結果は上記の通りであり、実施できなかった項目はあったが、
 計画外であった原発事故に伴う放射線に関する活動も実施し、全体的には成果を挙げた。

(2)今後の方針：
 今期の活動内容を継続して推進する。